

令和8年度 第2回 評議会 資料③

支部戦略プラン（支部健康づくり戦略） 策定について

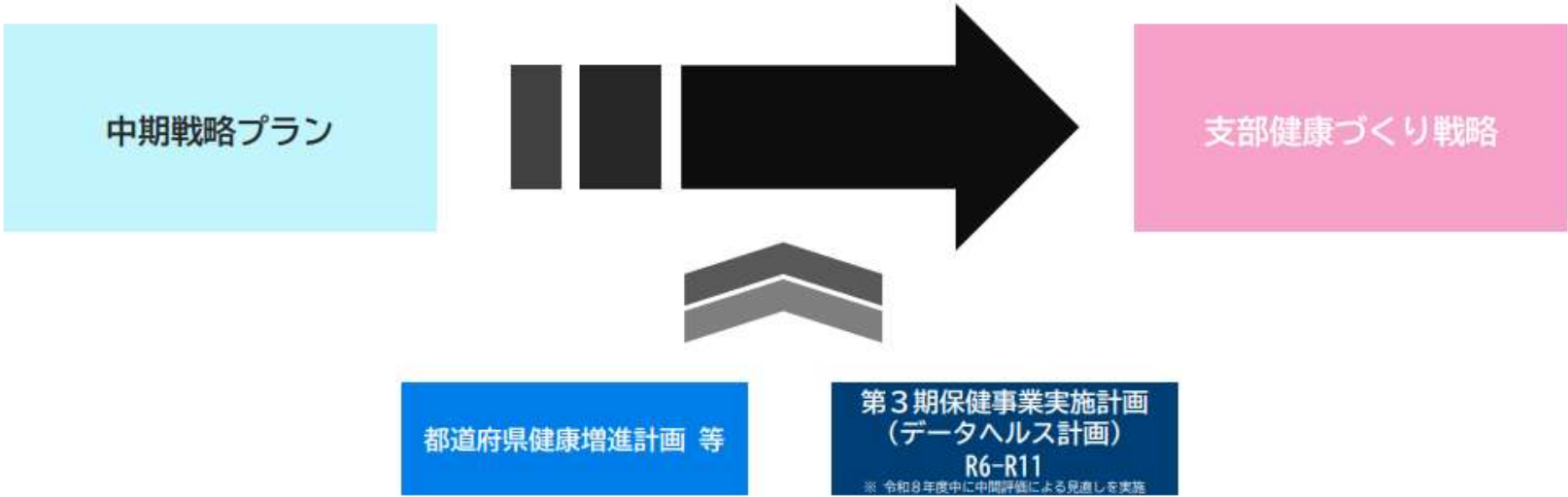


全国健康保険協会
山 梨 支 部

支部健康づくり戦略について

支部健康づくり戦略の構成

- ・ **地域特性**を反映した取組を記載
(第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)で重点的に実施する取組を含む)



●策定までの5つのステップ



1. 山梨支部 重点課題（今後3年間で特に注力すべき課題）

	課題
1	血圧が高く、高血圧の治療放置者が多い。 →血圧及び減塩対策
2	総合工事業、食料品・たばこ製造業、機械器具製造業の一人当たり医療費が高い。 →事業所へのフォローアップの強化
3	周産期に発生した病態に関する医療費が高い。 →女性の健康増進及びプレコンセプションケアの推進

2. 山梨支部 健康づくり戦略

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

山梨支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

山梨支部加入者が、血圧リスクに関心を持ち、高血圧予防のための生活習慣を理解し、改善に取り組んでいる状態。

II) 戦略概要

健診・レセプトデータ等を活用して、地域・年齢・業種別等の血圧リスクや生活習慣の状況を分析し、重点対象を明確化する。

加入者には、DX等を活用した広報や血圧リスク保有者へのアプローチを行い、自身の血圧リスクを「知る・測る」機会を提供し、減塩や禁煙・運動等の血圧を上げない生活習慣と、健診後の受診・治療継続等の血圧を放置しない行動を促進する。

事業主には、自社の健康課題に応じた血圧・減塩対策を実践できるよう支援する。

併せて、県・市町村・医療機関等の関係団体と連携し、健康的な職場・地域環境の整備を進める。

2. 山梨支部 健康づくり戦略

Ⅲ) 3年間の主な取組（案）

〔個人の特性に応じた支援〕

- ・ 山梨県の中で特に血圧リスクが高い市町村と連携し、地域の血圧リスク保有者が多いこと、健康リスクの深刻度及び生活習慣の改善についての広報を実施する。
- ・ 山梨県等と連携し、総合工事業・機械器具製造業の事業所に勤務する血圧リスク保有者へ、血圧リスクの認識と生活習慣の改善のため、健診データ等を活用した血圧カルテの送付や、減塩情報の提供を行う。

〔健康経営の推進〕

- ・ 健康宣言事業所から振り返りシートを提出していただき、健康経営を実施したことによる事業所の医療費や健康度のデータを分析する。
- ・ 健康宣言未エントリーの事業所を対象に、健康宣言に係る広報誌の送付や健康経営の意義・成果を説明する講演会の実施もしくは支部職員による訪問等を行い、健康宣言エントリー事業所数増加を図る。
- ・ 健康宣言エントリー事業所へ血圧測定器の貸出及び「血圧測定シート」を送付し、従業員に自身の血圧を把握してもらうことにより、生活改善の取組に繋げていく。

2. 山梨支部 健康づくり戦略

〔健診の拡充〕

- ・新規契約機関の発掘や既存機関の実施件数拡大のため、健診機関レポート等を活用した支部管理職等による勧奨を実施する。また、進捗管理にて実施率が低迷している機関を中心に、相談対応等を定期的に実施することで、実施件数の拡大を目指す。
- ・事業主へ受診勧奨を行うとともに、経年的な未受診者に対しては、個別に受診勧奨を実施する。
- ・被扶養者の健診について、市町村国保との連携を通じ、集団検診等の場を活用した特定健診等の実施や、3か年未受診者など岩盤層に対するホテル健診やまちかど健診などオプション健診の充実を図る。
- ・事業者健診データの取得に向け、委託機関を活用するとともに、職員による事業所への電話・訪問勧奨を強化する。
- ・令和9年度からの被扶養者健診拡充について充実した広報を実施する。パートタイム労働者で事業者健診を実施している被扶養者の健診を生活習慣病予防健診、人間ドック健診への切り替えるよう推進することにより被扶養者の実施率向上を図る。

2. 山梨支部 健康づくり戦略

[特定保健指導の量・質の向上]

- ・ 被保険者、被扶養者双方への健診当日初回面談の実施拡大に向け、健診機関に新規契約や実施率拡大について支部管理職等による健診機関レポート等を活用した勧奨を行う。
- ・ 共同利用不可提出から3か年経過している事業所に対し再確認の文書勧奨を行うことで案内率の向上と指導機会の確保を図る。
- ・ 直営の保健指導者に対し、年6回の支部内研修会の他、県外・県内研修の受講、支部内勤の場を活用したリフレクション等を定期的に実施することで、指導者全体のスキルアップを図り、加えて、年1回以上外部委託の保健指導従事者との合同研修会を実施することで、中断率の改善や初回未完了の減少、アウトカム評価に関する研修を通じて、保健指導従事者の育成と質の向上を図る。
- ・ 特定保健指導対象者のうち血圧リスク保有者に対し、尿中ナトリウム/カリウム比の測定による客観的数値と塩分チェックシート等の自己評価を活用した減塩指導を実施することで、数値の見える化を通じて内発的動機付けを行い、減塩の必要性理解促進や意識啓発、食生活の行動変容等を図る。

2. 山梨支部 健康づくり戦略

〔重症化予防の拡充〕

- ・ 本部の受診勧奨に加え、支部による文書・電話勧奨を確実に実施し、未受診者が多い事業所に対しては事業主及び担当者に対し支部保健師等が直接訪問による説明と勧奨を行い、労働安全衛生と関連づけた事業所の健康づくり体制を構築することを目指す。
- ・ 人間ドック健診の契約健診機関に対しては、受診者の健康意識が高まる健診当日の医療機関による受診勧奨の強化を勧めるとともに、医師による結果説明による受診勧奨の履行状況を確認し、連携強化を図る。
- ・ 特定保健指導の基準該当者以外の高血圧者に健康相談ができる体制を構築する。

2. 山梨支部 健康づくり戦略

[ヘルスリテラシーの向上]

- ・ 山梨県や各自治体においても血圧リスク保有者割合や塩分摂取量について課題ととらえていることから、山梨県をはじめ、関係機関と定期的な情報共有・意見交換を実施する。
- ・ YouTubeやLINE等のDXを活用した広報やアンケートの実施、ポスター・チラシの作成、減塩イベントの共同開催、加入事業所向けセミナーの実施や山梨県が推進している減塩宣言に参加し加入事業所への広報等を行うことで、加入者の身近に減塩に対する意識が普及して気軽に減塩に取り組むことができるよう環境を整備する。
- ・ 社内食堂（仕出し弁当等）を設置している事業所の事業主・担当者に対し、減塩の重要性や社内食堂等で可能な取組について説明し、利用者が自然に減塩できる食環境の整備を図る。
- ・ 禁煙対策について、薬剤師会や自治体と連携した禁煙セミナーを実施し、ハイリスク者に対しては、直営や外部委託機関の保健指導での禁煙指導を行う。
- ・ 加入者へ向けた健康についてのセミナーや出前講座等を積極的に実施する。

2. 山梨支部 健康づくり戦略

〔医療提供体制の確保・充実に向けた取組〕

- ・ 地域医療構想調整会議において、医療保険者の立場から健康・医療情報を「見える化」したデータ等を活用して意見発信を行う。

〔医療費の適正化〕

- ・ 薬剤師会と連携し、かかりつけ薬剤師の重要性について広報を行う。また、OTC医薬品についても周知を行うことで、加入者のセルフメディケーションへの意識を醸成する。
- ・ 医療機関や薬剤師会と連携し、医療機関・薬局や駅等のデジタルサイネージで山梨県の高血圧リスク保有者の現状や早期受診の重要性を広報する。

❖ 令和8年度 取組事業一覧

1. 医療費適正化等予算		2. 保健事業予算	
医療費適正化対策経費		健診経費・集団健診・受診勧奨経費	
1-1	薬剤師会と連携した医療費適正化対策	2-1	事業者健診結果データの取得
広報・意見発信経費		2-2	大型商業施設等での集団健診（被扶養者）
1-2	関係団体と連携した医療費適正化対策	2-3	付加価値を付与した集団健診（被扶養者）
1-3	LINE配信用データ作成業務委託	2-4	生活習慣病予防健診及び特定健診受診勧奨（パンフ作成）
1-4	新生児保護者への医療費適正化対策（育児誌の送付）	2-5	生活習慣病予防健診及び特定健診受診勧奨（個別勧奨）
1-5	メディア媒体を利用した医療費適正化対策（新聞）	2-6	生活習慣病予防健診未受診者への受診勧奨（被保険者）
1-6	加入者へ向けたセミナーの実施	2-7	次年度40歳に到達する被扶養者への勧奨
1-7	地方自治体等と連携した医療費適正化対策	保健指導・未治療者受診勧奨・重症化予防経費	
		2-8	健診結果に同封する個人情報共同利用チラシの作成
		2-9	検診車遠隔面談
		2-10	未治療者への文書による受診勧奨
		2-11	健診当日の健診機関による医療機関受診勧奨チラシの配布等
特別枠（医療費適正化予算）		コラボヘルス・その他の保健事業	
	ジェネリック医薬品使用割合の向上のためのYouTube広告業務	2-12	生活習慣病リスク保有割合が高い業態事業所への健康経営フォローアップ
特別枠（保健事業予算）		2-13	健康宣言事業所の拡大に向けた電話勧奨
	事業主等に対する被扶養者の特定健診・特定保健指導の認知度向上に向けた案内	2-14	健康宣言エントリー事業所への健康情報誌配布
		2-15	地方自治体等と連携した周知広報（ブース出展）
		2-16	高血圧リスク減少のためインストリーム広告業務委託